

# 山口県の 中小企業

SMALL BUSINESS ASSOCIATIONS OF THE  
YAMAGUCHI PREFECTURE

11 2013  
Nov  
Vol.667



表紙写真説明

第65回全国理容競技大会 in 山口

(山口市「山口県スポーツ文化センター」)

## 特集 平成26年度 中小企業・小規模事業者政策の概要について

■「いま、これを伝えたい!」

下関水産物卸協同組合

■県内の元気のある中小企業紹介②

有限会社中村民芸社  
有限会社アセンティー

■組合等ニュース

■消費税転嫁対策事業のご案内

■平成25年度年末資金（短期運転資金）の実施について

■景況動向

■やまぐち総合ビジネスメッセ2013が開催

■「やまぐち商工業推進計画」、「やまぐち観光推進計画」  
及び「やまぐち雇用・人材育成計画」のお知らせ

■「2013年 組合トップセミナー」開催のご案内

■特定退職金・小規模共催のご案内

「いま、これを伝えたい！」

11月23日は「鮫鯨（あんこう）の日」、

下関さかな祭を開催

下関水産物卸協同組合



下関漁港

【任意団体から法人化へ】  
当組合は、1995年に任意組合として発足し、活動してまいりました。下関漁港の基幹漁業、沖合底びきの新造船建造計画に基づくプロジェクトなどで漁港市場の流通改革の議論が進む中、再度、仲買業者として責任体制を明確にするために、法人格を取得する必要性が生じ、平成23年11月1日、下関漁港の仲買業者63名で組合を設立しました。現在、燃料



下関さかな祭

の共同購入をはじめ、下関漁港の発展のため、卸売業者、生産者と歩調を合わせ、活発な事業活動に取り組んでいます。  
【鮫鯨（あんこう）水揚げ日本一】  
下関漁港を基地として対馬海峡から山口県見島沖で操業する沖合底びき網漁は、毎年益明けの8月16日に解禁され、翌年の5月末までの9ヶ月間の漁期中に連日、多彩な魚が水揚げされます。中でも、下関漁港が



アンコウシール

水揚げ日本一を誇る鮫鯨（あんこう）は、組合ほか市場関係者等で組織されている「下関漁港沖合底びき網漁業ブランド化協議会」でブランド化が進められており、現在では、フグと並ぶ下関を代表する名物魚として定着しつつあります。

なお、同協議会では、11月23日は、「下関さかな祭」が開催されることから、「鮫鯨（あんこう）の日」と制定し、各種イベントを開催しています。ちなみに2012年の水揚げは543トンでした。

【毎年多くの人で賑わう、「下関さかな祭」】

毎年、11月23日は、「下関さかな祭」が下関漁港において開かれ、下関近海で獲れた新鮮な魚を安価で販売し、毎年長蛇の列で賑わっています。また、当日は、周辺地域で多くのイベントが開催され、市内は活気で盛り上がりを見せます。

【下関漁港の施設整備計画進む】

下関漁港は、国内でも特に重要な

漁港として指定されている「特定第3種漁港」であり、沖合底びき網漁業等が盛んな全国有数の水産物流通拠点であるとともにフグ、あんこうの水揚げが全国一となっています。このたび、下関漁港では、流通機能の強化を図るため、高度衛生管理型の荷捌き所などを整備するための計画が策定されたところであり、これを契機に組合においてもより結束を固め、下関水産物の振興に寄与するべく積極的に組合活動を行ってまいります。



## 下関水産物卸協同組合

### 【組合概要】

- 理事長：山口 秀人
- 組合住所：下関市大和町一丁目16番1号
- ☎ 083-266-0735 FAX 083-266-0735

### 【組合の主な活動】

共同宣伝事業、共同購買事業、福利厚生事業

# 平成26年度 中小企業・

## 小規模事業者政策の概要

中小企業庁より、平成26年度経済産業政策の重点、概算要求・税制改正要望について公表されました。(紙面の都合上、中小企業・小規模事業者予算関係のみ掲載します。)

### 中小企業・小規模事業者関係 予算等の推移

#### 1. 中小企業対策費の推移

	24年度	25年度	26年度(要求)	特別枠
政府全体	1,802億円	1,811億円	2,394億円	817億円
うち経産省計上	1,060億円	1,071億円	1,351億円	339億円

#### 2. 24年度補正予算

	24年度補正
政府全体	5,434億円(資金繰り2,893億円)
うち経産省計上	3,721億円

### 今後の中小企業・小規模事業者政策の柱

- 被災地の中小企業・小規模事業者対策に万全を期す
- 小規模事業者に焦点を当てる  
中小企業の87%は小規模事業者。景気回復の実感を全国366万者の小規模事業者に行き渡らせる。
- 開業率10%台を目指す  
日本の開業率は4.5%(2011年度)。  
イギリスは11.2%(2011年)、アメリカは9.3%(2010年)。
- 黒字の中小企業・小規模事業者の倍増を目指す  
黒字の中小企業・小規模事業者(資本金1億円未満の法人)  
・1991年度…109万社(黒字比率…50%、法人数…219万社)  
・2011年度…70万社(黒字比率…27%、法人数…254万社)

#### 5. 新たに1万社の海外展開の実現を目指す

(1) 安定的な事業継続を目指す小規模事業者を支援

- 海外直接投資を行っている中小企業数…5,630社(2009年)
- 輸出を行っている中小企業数(製造業)…5,920社(2010年)
- 消費税軽減策に万全を期す
- 経済活力を維持する

- ① 小規模事業者経営改善資金融資事業(マル経) 【40億円(拡充)】
- ② 小規模事業者等人材・支援人材育成事業 【15億円(新規・特別枠)】  
経営指導員の支援能力の向上等を図る。
- ③ 小規模事業者の活力向上のための税制措置の創設 【税制(新規)】  
純損失の繰越期間の延長等、所要の税制措置を講ずる。

#### 今後の中小企業・小規模事業者政策

##### 1. 被災地対策

【要求額…613億円+事項要求】

- 中小企業組合等共同施設等災害復旧事業(グループ補助金) 【事項要求】
- 東日本大震災復興貸付等 【530億円(継続)】
- 中小企業移動販売支援事業 【3.8億円(拡充)】
- 中小企業再生支援協議会事業 【35.5億円(拡充)】
- 中小企業基盤整備機構の運営費交付金 【20.3億円(拡充)】

- (2) 小規模事業者の新たな挑戦を支援  
① 小規模事業者等JAPANブランド育成・地域産業資源活用支援事業 【29億円(新規・特別枠)】  
・「中小企業地域資源法」を見直し、B級グルメを活用した事業やコミュニティビジネス等を支援。
- ② 小規模事業者活性化事業 【34億円(拡充)】
- ③ 下請中小企業・小規模事業者自立化支援事業 【12億円(拡充)】

##### 2. 小規模事業者に焦点を当てる

【要求額…232億円】

- 小規模事業者の振興を図るための「基本法」の制定
- 次期通常国会への法案提出

- (3) 経営支援を強化  
○ 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業 【77.2億円(新規・特別枠)】  
・「よろず支援拠点」(富士市産業支援センター)がモデル)を認定

- 中小企業庁に新たに「小規模企業支援課(仮称)」を設置

- 支援機関等のネットワークのコーディネート役として全国47箇所に

整備。

・支援ポータルサイト「ミラサポ」を通じて経営相談を行える仕組みや専門家派遣を受けられる体制を構築。

**3. 開業率が廃業率を上回る状態にし、開業率が10%台になることを目指す** 【要求額：163億円】

(1) 創業を増やす

① 地域創業促進支援事業

【20億円（新規）】

・女性・若者等を対象に、創業準備金の発掘からビジネスプランの作成を支援。

② 地域創業促進税制【税制（新規）】

・認定支援機関の指導・助言を受けて会社を設立する場合に登録免許税を軽減。

③ 創業を金融面から支援

(i) 中小企業・小規模事業者経営力強化融資・保証事業

【14.9億円（新規）】

・創業・経営多角化事業に対する低利融資（基準金利10.4%）等を整備することで、中小企業・小規模事業者の経営力強化を図る。

・女性・若者・シニアによる創業に対する金利を引き下げ（10.65%）。

④ 地域商業自立促進事業

【60億円（新規・特別枠）】

・インキュベーション施設の整備や空き店舗への店舗誘致等を支援し、商店街の新陳代謝を進める。  
・「御用聞き」事業等の支援や、子育て支援施設の整備等を支援。

(2) 事業承継を通じて第2創業を後押しする

○ 中小企業再生支援協議会事業

【48億円（拡充）の内数】

・「事業引継ぎ支援センター」の全国展開（8↓24箇所）を図る。

(3) 個人保証制度の見直しによる創業・事業承継の促進

① 経営者保証に関するガイドラインの策定

・法人の事業資産と経営者個人の資産が明確に分離されている等、一定の条件を満たす場合には、保証を求めないこと等に関するガイドラインを策定。

**4. 黒字企業を倍増**

【要求額：161億円】

(1) ものづくりを支援

○ ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業

【126億円（新規）】

・「中小ものづくり高度化法」の特定ものづくり基盤技術を見直し医療、環境分野などの成長分野にも

対応したビジネス化を見据えた研究開発を支援。

(2) 新事業展開・生産性向上を支援

① 中小企業・小規模事業者連携促進支援事業【23億円（新規・特別枠）】  
・農工商連携等による新事業活動を支援。

② 中小企業投資促進税制

【税制（上乗せ・延長）】

・ソフトウェアが組み込まれた設備等につき特別償却等の繰越期間の延長を図るとともに、特別償却・税額控除割合の引上げを行う。

(3) 認定支援機関の支援の「質」の向上

○ 認定支援機関等研修事業

【2億円（拡充）】

**5. 1万社の海外展開を実現**

【要求額：32億円】

○ 中小企業・小規模事業者海外展開戦略支援事業 【31億円（新規）】

・展示会出席・F/S調査支援や情報提供事業に加え、決済機能付き外国語HPの作成支援、「中小企業海外現地支援プラットフォーム」の拡大や海外現地常設ショールームの設置等を行う。

**6. 消費税転嫁対策**

【要求額：57億円】

○ 消費税転嫁状況監視・検査体制強化等事業 【46.6億円（拡充）】

**7. 経済活力の維持**

(1) 事業再生支援の強化、資金繰り支援

○ 中小企業再生支援協議会事業

【48億円（拡充）の内数】

・各都道府県の中小企業再生支援協議会における中小企業・小規模事業者に対する再生支援体制を強化。

○ きめ細かな資金繰り支援

【233億円（拡充）】

(2) 中小企業・小規模事業者の経済活力の維持・向上

○ 24年度補正予算の執行と効果の見極め

(i) ものづくり補助金（試作品開発・設備投資）…1万社を支援

(ii) 人材対策事業…2.5万人の女性・若者のインターンシップ支援

(iii) まちづくり・にぎわい補助金…商店街活性化

(iv) 認定支援機関による経営改善計画策定支援…2万社を支援

詳細は、中小企業庁のホームページの予算のサイト

(<http://www.chusho.meti.go.jp/koukai/yosan/index.html>) をご覧ください。

## 「大内塗」の技術を活用した新しい生活の器「山口陶漆器」など、新商品開発及び販路開拓に取り組む

有限会社中村民芸社

大内塗漆器振興協同組合（富田潤二理事長）の組合員である(有)中村民芸社は、「大内塗」の技術を活用した新しい生活の器「山口陶漆器」や「インテリア商品」「小物雑貨」等の新商品開発及び販路開拓をテーマに、中国経済産業局から、10月16日付けで「地域産業資源活用事業計画」の認定を受けました。

同社は、昭和元年に創業し、大内塗漆器や大内人形等を製造販売する漆器製造業者であり、「大内塗」産地では唯一の法人企業者です。

山口県を代表する伝統的工芸品である「大内塗」は、漆器や大内人形が有名ですが、近年、漆器に対する需要の減少や職人の高齢化等により、廃業や売上高の減少など産地の衰退が進んでいます。

こうした中、山口県の伝統的工芸品である「大内塗」、「萩焼」、「赤間硯」の三産地が連携して、平成22年度から3年間にわたり、大内塗漆器振興協同組合と連携しながら、国の伝統的工芸品産業支援補助事業として新商品開発を進めてきました。その結果、平成24年度に同社が開発主体となり「萩焼」と「大内塗」が融合した新しい生活の器を開発することができ、「山口陶漆器」と命名しました。

今回の事業計画は、これまで培ってきた漆塗りの技術をもとに、新商品である「山口陶漆器」のほか、拭き漆（ふきうるし）の技法によるインテリア商品や大内人形をベースにした漆塗り小物雑貨等の新商品を開発し、新たな販路の開拓・拡大に取り組むことにより、「大内塗」の知名度向上と産地振興を図ることとしています。



### お問い合わせ先

有限会社中村民芸社  
 代表者・中村 淳  
 〒743-0214  
 山口県大内御堀4138番地  
 ☎083-927-0619  
 FAX 083-927-4619

## 異分野連携による 油土壌浄化のビジネス化

有限会社アセンティー

今回は、短期間で油土壌を浄化する「新バイオオグメント工法」の事業化をテーマに、中国経済産業局から、10月16日付けで「新連携計画」（異分野連携新事業分野開拓計画）の認定を受けた有限会社アセンティー（コア企業）を紹介します。

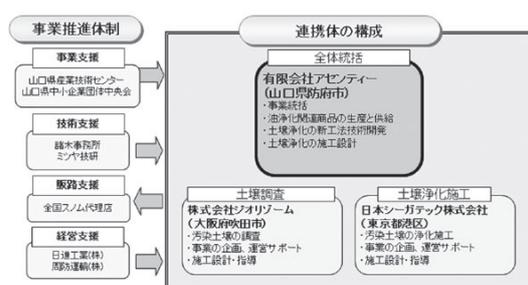
微生物（バクテリア群）の働きを利用して汚染土壌を浄化する「バイオレメディエーション」と呼ばれる土壌浄化技術は、平成17年に経済産業省と環境省との連名で「微生物によるバイオレメディエーション利用指針」が示されるなど、低コストで環境に優しい浄化手段として利用拡大が期待されています。

「バイオレメディエーション」のうち、外部の微生物を添加する「バイオオグメントレーション」工法は、一般的に、①施工期間が3〜6ヶ月程度かかる、②重質油に対応していない、③土壌の生態系バランスが崩れる懸念がある等の課題を抱えていました。

そこで有限会社アセンティーでは、生態系に影響しないバクテリアによる「スノム」をはじめとする油浄化関連商品と、独自の前処理技術で浄化を促進する「新バイオオグメント工法」によって、これらの課題を解決し、浄化期間の約1ヶ月短縮、対処可能油種の拡大

等を実現しました。

今回の計画では、油浄化関連商品生産、汚染土壌調査、浄化施工の各専門企業が連携し、工事として請け負うことにより、顧客にワンストップサービスを提供することで「新バイオオグメント工法」の普及を目指します。



**油土壌浄化材「スノム」**  
 マメ科植物殻を材料にして構成された油吸着分解剤で、人畜・植物には無害で金属等への腐食性も無く、無リンの環境対応型の商品。

### お問い合わせ先

有限会社アセンティー  
 代表者・取締役社長 本多 淳一  
 〒747-0825  
 山口県防府市新田246番地  
 ☎0835-27-0632  
 FAX 0835-24-0072

## 第11回長府企業

### フェスタを開催

10月5日(土)、6日(日)の両日、下関市の下関競艇場において、第11回長府企業フェスタ（主催：長府企業フェスタ実行委員会、共催：下関市）が開催されました。

「人とまちと企業のふれあい」をテーマに、長府扇町周辺の51の企業や団体等が出展し、市民に自社の商品や製品、技術等を紹介したほか多彩なイベントが行われ、地域の方々の親睦交流が図られました。

また、昨年引き続き、東日本大震災被災地への支援を目的にした東北地方の物産販売も行われました。



## 感謝と豊漁を祈願し

### 「うに供養祭」を開催

山口県うに協同組合



10月20日(日)、山口県うに協同組合（中嶋豪理事長）は、下関市の赤間神宮において関係者約1000人が参列し、「うに供養祭」を開催しました。

市内の豊北町で獲れたムラサキウニを供えて、神職が祝詞を奏上する神事が行われた後、参列者が約500匹のムラサキウニを関門海峡に向けて放流し、ウニへの感謝と来年の豊漁を祈願しました。

また、中嶋理事長ら役員3名は、下関市社会福祉協議会を訪れ、うにの瓶詰120本を寄贈しました。

## 消費税転嫁対策事業のご案内

平成26年4月より予定されている消費税の引き上げに際し、消費税の円滑かつ適正な転嫁に向けた「消費税転嫁対策特別措置法」が平成25年6月5日に成立し、10月1日より施行されました。

本会では、消費税率の二段階にわたる引上げや制度変更への円滑な対応のため、協同組合等と連携して、県内地域別での普及講習会の開催、専門家による相談窓口の設置やパンフレット等による周知等の事業を実施します。

### 1. 相談窓口の開設

消費税の適正転嫁等に関する協同組合等からの相談に応じるため、消費税相談窓口を本会事務局に設置しています。

### 2. 組合等への専門家派遣

協同組合において、消費税転嫁に係る研修会・勉強会等を希望する場合には、公認会計士や税理士、弁護士等の専門家を派遣し、消費税転嫁対策特別措置法の概要や消費税率の引き上げに係る経過措置と転嫁対策についての講習を行います。

（開催日時、場所等については事前にご相談ください）

### 3. 県内各地での講習会の開催

詳細が決まりましたらお知らせいたします。

お問い合わせ先 山口県中小企業団体中央会 連携支援第二課 水野（電話083-922-2606）

## 「ヘア維新 歴史の街から未来へ発信」 第65回全国理容競技大会 in 山口を開催

山口県理容生活衛生同業組合

10月21日(月)、山口市の「維新百年記念公園 山口県スポーツ文化センター」で、「第65回全国理容競技大会 in 山口」が開催されました。主催は、全国理容生活衛生同業組合連合会で、引き受け県として、山口県理容生活衛生同業組合の角野悦雄理事長が大会実行委員長を務め、角野理事長を中心に、組合員が一丸となつて、3年前から準備を進めてきました。

当日は、47都道府県から、予選を勝ち抜いた山口県代表10人を含む男女189人が、大会へ向けて練習してきた成果を遺憾なく発揮して優勝を目指しました。競技は、第1部門は、男性カットの基本技術を競う「クラシカル

カット・ファッションカテゴリー」、第2部門は、女性のモードスタイルを創作する「レディスカット・モードカテゴリー」、第3部門は、流行の最先端の男性ヘアを創作する「JIG」の3部門で競技が行われました。

各競技の成績は、各部門1位のみ紹介しますと、第1部門は、北河輝夫氏(千葉)、第2部門は、荻原奈々氏(東京)、第3部門は、吉沢隆氏(富山)が優勝されました。

山口県代表のメンバーは、開会式で選手宣誓をした宇佐川竜也氏が第2部門で敢闘賞を受賞され、佐野宙史氏が第3部門で同じく敢闘賞を受賞されました。

また、併せて開催された「理容2013メッセ」全国大会では、中国協議会代表で山口県の倉重憲子氏がみごと優勝されました。来年は、山形県で第66回全国大会が開催されます。



開会式で大会実行委員長として挨拶される角野理事長



第2部門で敢闘賞を受賞した宇佐川竜也氏(左から2番目)



第3部門で敢闘賞を受賞した佐野宙史氏(左から2番目)

### 平成25年度年末資金(短期運転資金)の実施について

## 「年末のボーナス資金などに。県の年末資金をご利用ください。」

県では、年末の中小企業の資金需要に対応するため、例年実施している年末資金について、引き続き厳しい経営環境に鑑み実施しています。

- 実施時期** 10月15日(火)～12月30日(月)
- 融資限度額** 800万円(※不況業種1,000万円、組合4,800万円)
- 融資利率** 年1.9%  
(責任共有制度対象外となるものは年1.7%、信用保証協会の保証無は年2.0%)
- 保証料率** 年0.34%～1.76%(責任共有制度の対象となるものは、年0.34%～1.45%、対象外となるものは、0.40%～1.76%。なお、国のセーフティネット保証等に該当する場合は年0.65%)
- 融資期間** 5ヶ月以内(原則として一括償還)
- 保証人** 保証付きの場合は、原則として法人の代表者以外は不要。  
保証無の場合は、指定取扱金融機関の定めるところによる。
- 担保** 指定取扱金融機関又は保証協会の定めるところによる。
- 取扱金融機関** 次の金融機関の県内本支店  
(申込先) 山口銀行、広島銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、伊予銀行、十八銀行、西京銀行、もみじ銀行、東山口信用金庫、萩山口信用金庫、西中国信用金庫、山口県信用組合、朝銀西信用組合、信用組合広島商銀、商工組合中央金庫
- 問合せ先** 上記の取扱金融機関  
山口県信用保証協会(☎083-921-3094)  
県経営金融課(☎083-933-3188)

※不況業種：642業種(産業分類細分類)〈中小企業信用保険法に基づき国が指定〉

# 月次景況調査結果

平成25年9月期

※DI値(前年同月比) = 増加・好転組合割合 - 減少・悪化組合割合  
 (表については、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

## 業種別の景況

	業 種	9月期	対前月比
製 造 業	食 料 品	☂	→
	織 維 工 業	☂	→
	木 材 ・ 木 製 品	☁	↗
	印 刷	☂	→
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☁	→
	一 般 機 器	☁	↗
	輸 送 機 器	☂	→
非 製 造 業	卸 売 業	☁	→
	小 売 業	☂	→
	商 店 街	☂	↘
	サ ー ビ ス 業	☂	↘
	建 設 業	☁	→
	運 輸 業	☂	↗

県内の「業界の景況（前年同月との比較）」は、悪いと感じている人が先月（8月）よりも減少しているが、円安によるコストアップで、「収益状況」は悪化していると感じている人が、増加している。

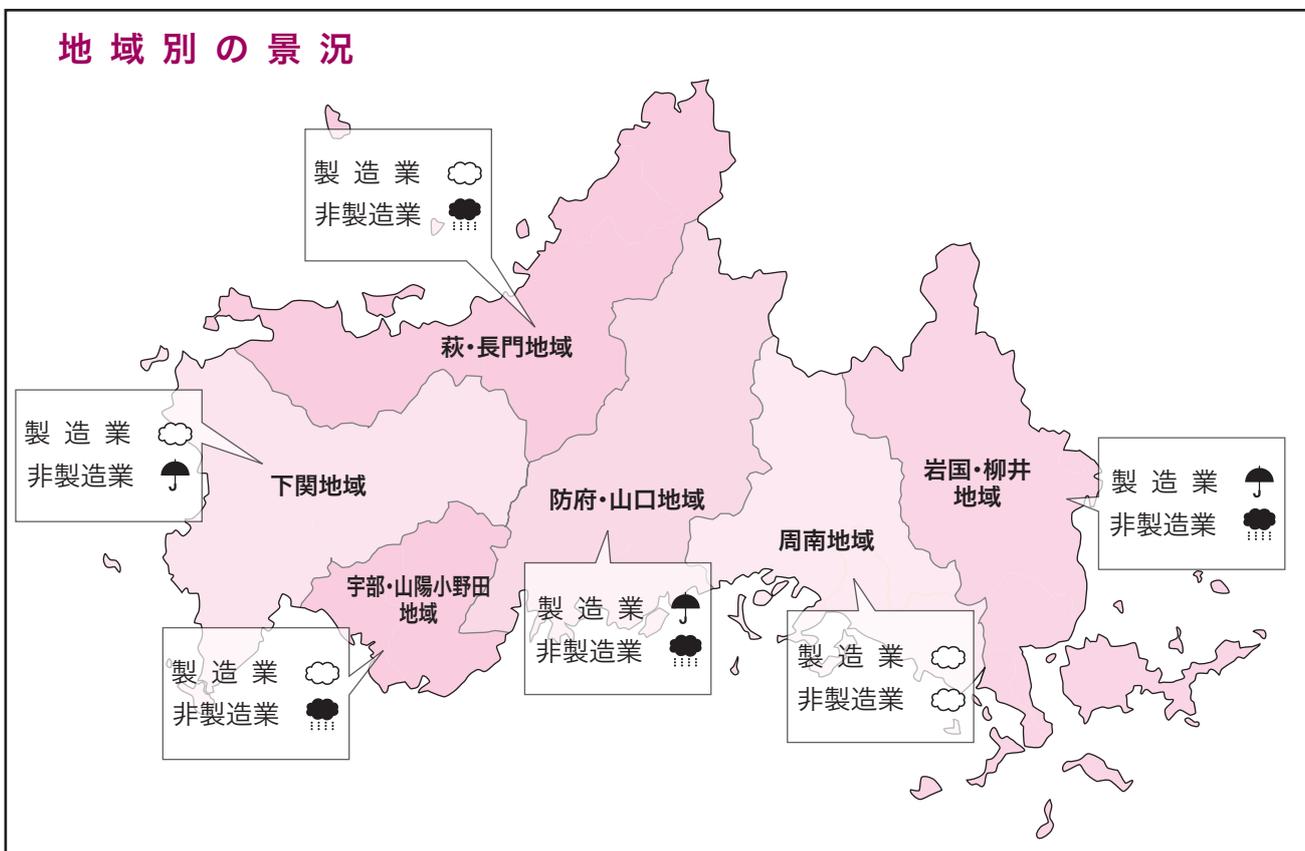
9月は、消費税増税に伴う駆け込み需要増加の報告が木材・木製品製造業、建設業、運輸業からあり、砕石製造業からは、7月末の豪雨災害復旧関連で、資材の出荷量が増加したとの報告もあった。

一部の業種で受注量が増えた等、少しずつ上向き傾向の企業が増えて来たとの報告もあるが、消費税増税が具体的となってきた9月では、消費者も慎重な行動をとっているとの報告もあった。

**DI値**

30以上	☀	-30以上-10未満	☁
10以上30未満	☁	-50以上-30未満	☂
-10以上10未満	☁	-50未満	☂

## 地域別の景況



情報連絡員報告

平成25年9月期

地区・業種を代表する県内組合の役職員60名の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

また、中央会ホームページ (<http://axis.or.jp/>) の「月次景況調査」にも掲載していますのでご活用下さい。

製 造 業	食料品	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 売上は昨年と変わらない中、現在、お菓子が一番売れる場所は、集客のある下関の販売店である。組合員の減少に歯止めがかからない。(パン・菓子製造業)</li> <li>○ 9月前半は豪雨災害の影響が残り、10%程度ダウンで推移していたが、中旬より回復し、前年同月比でイーブンの月商となった。(水産食料品製造業)</li> </ul>
	繊維工業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 傘下企業1社の休業が影響し関連企業も経営が困難になり対策検討中である。製造は海外へのシフトが一段と進んでいる。(下着類製造業)</li> <li>○ 豪雨で床上浸水の事業所があったが、社員家族やボランティアの支援もあって1ヶ月で復旧し稼働。日本製の再評価が広がっており、今後はTPPに対応してアセアン市場へのアプローチが必要である。(外衣・シャツ製造業)</li> </ul>
	木材・木製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山陽側では消費税の駆込み需要があり、受注高等も増えているが、山陰側では変化はあまりない。(下関市)</li> </ul>
	印刷	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年よりも多少良い状況だが、例年と同じく閑散期で受注量が減っている。</li> <li>○ 印刷物の減少で、低価格競争に歯止めがかからない。この上増税分の消費税まで負担させられるのであれば、廃業に追い込まれる業者も少なくない。(印刷)</li> </ul>
	窯業・土石製品	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対前年同月比は、主に豪雨災害の復旧関連で、骨材125%、路盤材148%、再生材111%、全体では129%の出荷量となっている。(砕石製造業)</li> <li>○ 出荷量は前月比では89%、前年同月比では104%である。災害復旧関連を含む出荷量増は、年度後半となる見込み。(生コンクリート製造業)</li> </ul>
	一般機器	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9月の金型製造設備の操業度は大型金型の受注が一段落した。国内も動きは出て来ている模様だが、来期分等の受注には、さらなる、価格競争、短納期の対応が不可欠である。(特殊産業用機械製造業)</li> </ul>
	輸送機器	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鉄道車両部門は、依然として低水準にあり、何とか持ちこたえているが、下期も厳しい経営を強いられる環境である。その中で、プラント及び精密加工部門は作業量が増加しており、操業度も持ち直してきたが、車両部門分をカバーするまでには至っていない。(鉄道車両・同部品製造業)</li> </ul>
非 製 造 業	卸売業	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全般的に昨年度より売上高は増加傾向にあるものの、円安による燃料・資材商品等の仕入れ原価は値上がり、収益確保は厳しい。(周南市)</li> <li>○ 太陽光発電等、少しずつ上向き傾向の企業が出て来た。団地内の2社も、倉庫を建て増している。(防府市)</li> </ul>
	小売業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 9月は半期決算期のメーカーも多く、新製品の発売もあり、店頭は季節の変わり目のファンデーションの切り替え等で賑っている。(化粧品小売業)</li> <li>○ 今月も売上、客数とも前年割れという厳しい状況は続いている。(長門市)</li> </ul>
	商店街	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近隣商店街のイベントの開催により来客数は多かったように感じる。しかし、駐車場の利用数と組合員店舗の売上は、少し減少している。(山口市)</li> </ul>
	サービス業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消費者は、思っている以上にお金を使わなくなっている。消費税増税は、物価を引き上げるが、サービス相当の対価を支払う社会になることに期待。(理容業)</li> <li>○ 連休があるにもかかわらず、肝心の泊り客が減少。宴会は前年並みであった。新しい観光施設がオープンしたが、期待程の波及効果はなかった。(旅館業)</li> </ul>
	建設業	☁	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共工事は大幅に増加したが、入札額は低調で、経営改善には至っていない。消費税の駆込み需要は、住宅工事にはあるが、職人・資材とも確保難で、需要に対応出来ない状況。耐震工事等も増加しているが、職人の確保難で、採算が取れない状況。(土木工事業)</li> </ul>
	運輸業	☂	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 円安・消費税増税による価格アップ前の駆込み需要で、国内向け輸送が、中旬以降活発となり車両不足を来した。輸出は横ばい。油関係は、1.1円値上げ。(一般貨物自動車運送業)</li> <li>○ 自動車関連で、生産拠点を来年度より一部海外に移管することが決定しており、稼働減は避けられない。(一般貨物自動車運送業)</li> <li>○ タクシーチケットの取扱金額は、防府市が前年より若干増加。周南、下松市はほぼ前年並みだが、光市が減少している。燃料のLPGは、円安により、8月より+2%上昇、前年9月分比べ+15%となった。(一般旅客自動車運送業)</li> </ul>

## やまぐち総合ビジネスメッセが周南市で開催

商工労働施策を総合的に普及啓発するとともに、県内企業の情報発信と企業間取引の活性化、県内雇用の促進等を目的に、産学公が一体となって開かれる総合産業イベント「やまぐち総合ビジネスメッセ」が、10月25日(金)、26日(土)の2日間、周南市の「麒麟ビバレッジ周南総合スポーツセンター」で開催されました。

県内企業など約200社がブースを設け、本会も産学公連携エリアに出展し、中小企業組合制度や中小企業BCP（事業継続計画）等について紹介をするとともに、相談に応じました。その他に、機械金属のブースでは、県内のものづくり中小企業が15社、食品・農商工連携のブースでは42社などが出展し、商談会のブースでは数多くの商談が行われました。

初日は、児童生徒らも訪れ、様々なイベントが行われ、(一財)機械振興協会経済研究所調査研究部長北嶋守氏や同志社大学学長の村田晃嗣氏の講演をはじめ「ふるさと山口就職説明会」がありました。



にぎわうイベント会場



オープニングセレモニーで、主催者挨拶をされる木村進山口県商工労働部長



講演される(公財)やまぐち産業振興財団副理事長森敏明氏

翌26日(土)は、メインアリーナでは、(公財)やまぐち産業振興財団副理事長森敏明氏の講演のほか、一般の方々を対象にイベントが行われ、全日本製造業コマ大戦2013中国場所やご当地アイドルグループ「山口活性学園」のミニコンサートなどが開催されました。

今回は、はじめて2日間にわたり開催され、1日目は企業向け、2日目は一般来場者向けにイベントが企画され、2日間で、約10,500人の方が会場を訪れました。

### 【お知らせ】

山口県では、商工、観光、労働各分野に関する取組の一層の推進を図るため、各分野において取り組むべき施策を体系的に整理した3つの計画（「やまぐち商工業推進計画」、「やまぐち観光推進計画」及び「やまぐち雇用・人財育成計画」）を策定しました。

詳しくは、山口県のホームページをご覧ください。

＜閲覧先＞ 「やまぐち商工業推進計画」（商政課ホームページ）

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16100/syokogyo/keikaku.html>

「やまぐち観光推進計画」（観光振興課ホームページ）

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16200/kankoukeikaku/shinkoukeikaku.html>

「やまぐち雇用・人財育成計画」（労働政策課ホームページ）

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15900/koyokeikaku/keikakutop.html>

# 「2013年 組合トツプセミナー」開催 のご案内

県内の協同組合等の中小企業連携組織及び中小企業のリーダー等を対象に、地元の実情を踏まえた今後の経営戦略・成長策等についてお話しいただくとともに、参加者相互の交流を深め、県内の中小企業の元気づくり・活性化を図ることを目的として開催します。お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

【日時】 平成25年 **11月25日** (月曜日) **15:00~18:30**

【場所】 **西の雅常盤** (山口市湯田温泉)

【テーマ】 「ものづくり企業をはじめとした  
中小企業の成長戦略・新事業展開」

【講師】 同志社大学大学院 客員教授 **すぎ た ざだ ひろ** 氏  
(元中国経済産業局長)



杉田定大氏

※セミナー終了後、交流会を予定しております。

(新山口駅から会場まで送迎のバス(無料)を出す予定です。)

【参加費】 無料(但し、交流会参加者は5,000円)

【お問い合わせ】 山口県中小企業団体中央会 連携支援第一課(担当:田中) ☎ 083-922-2606

中小企業経営者の  
みなさまへ

国が準備したセーフティネット **安心の材料をご提供します。**

### 経営セーフティ共済

「経営セーフティ共済」は、中小企業倒産防止共済制度の愛称です。

取引先の突然の倒産!まさかのときの  
資金調達先は準備していますか?

「取引先の倒産」と「商取引の事実」の確認で迅速に貸付実行。  
回収困難となった売掛金(被害額)相当の資金を調達できます。(最高8,000万円まで)  
当面の資金繰りに役立ち、**自社と社員を守れます。**

### 小規模企業共済制度

経営者ご自身の「現役引退後の生活  
資金」のことをお考えですか?

将来、「廃業」「役員退任」等が生じたときに共済金を  
受け取れます。  
現役引退後の安心した生活設計が図れます。

●共済制度の詳細内容は、パンフレット等を必ずご覧ください。

経営セーフティ共済

検索



掛金は  
損金もしくは  
必要経費に  
算入できます

小規模企業共済

検索



★毎月3万円の掛金(年間36万円)で、例えば  
課税対象所得400万円の方なら、約11万円  
の節税になります。  
(左図は確定申告書の記載例)

掛金は  
全額所得  
控除

制度の運営機関：独立行政法人 中小企業基盤整備機構 TEL 050-5541-7171 (共済相談室) URL <http://www.smrj.go.jp/kyosai/index.html>

共済制度のお申し込みは、**山口県中小企業団体中央会**

〒753-0074 山口市中央4-5-16  
TEL: 083-922-2606 FAX: 083-925-1860

今月の

# さわやかレター

2013  
Nov



湯田温泉配給協同組合  
安光 孝代さん



ゆう子

ゆう太

昨年の2月に、組合の職員になられたとのこと。現在は、事務全般を一人で担当されています。近頃は、湯田温泉のマスコットキャラクター「ゆう太くん、ゆう子ちゃん」のPRに関わっています。

趣味を伺うと、「ショッピングやカフェめぐりです。」と答えられました。

好きな言葉は、「一期一会」。(実はゆう太くんも一緒です。)人との出会いを大事にされています。

日々心がけておられることは、「前向きな発言と笑顔！」

組合のPRをお願いしたところ、「湯田温泉は、800年以上前から存在していた歴史ある温泉です。「天与の恵みを大切にしよう」という気持ちから、全国の温泉地に先駆けて、各泉源から温泉を貯湯槽に集め、旅館・ホテル等に配湯するシステムを1984年に構築しました。私たちは、今後も7つの泉源からいただく資源を大事にしながら、湯田温泉の未来のために日々努力していきます。」と素敵な笑顔で答えていただきました。

表紙写真

第65回全国理容競技大会 in 山口  
(山口市「山口県スポーツ文化センター」)

編集・発行

 山口県中小企業団体中央会

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://axis.or.jp/>



印刷製本 株式会社 桜プリント社